

coselgi™mojo

取扱説明書
COSELGI MOJO™補聴器

MRR2D モデル
RIC / RITE
(RIC 補聴器 / RITE 補聴器)



お客様の補聴器

(販売店で記入します)

これは、お使いの補聴器で使用可能なプログラムのリストです。

各プログラムの使用に関する詳細は「カスタマイズ」をご覧ください。

補聴器のプログラム：

プログラム	線形周波数変換
<input type="checkbox"/> 万能	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 静寂	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 快適	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 交通機関	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 都会	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> メリハリ	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> パーティ	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> グループ	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> ミュージック	<input type="checkbox"/>

特別プログラム	線形周波数変換
----------------	----------------

<input type="checkbox"/> ゼン	<input type="checkbox"/>
-----------------------------	--------------------------

<input type="checkbox"/> 電話	<input type="checkbox"/>
-----------------------------	--------------------------

スマートトグルプログラム	線形周波数変換
---------------------	----------------

<input type="checkbox"/> ゼン+	<input type="checkbox"/>
------------------------------	--------------------------

表に記載されているプログラム名は既定のもので、利用できる他の名前を使用する場合は、表に新しい名前を記入してください。これにより、補聴器でご利用可能なプログラムがいつでもわかります。

本書をお読みください

補聴器のご使用前に、本書およびイヤセット小冊子の取扱説明書をよくお読みください。また、充電器の取扱説明書も必ずお読みください。

音声転送&ワイヤレスコントロール

本補聴器は、スマートフォンおよびその他の機器から DEX 経由で音声転送できるだけでなく、直接ワイヤレスコントロールできます。詳細については、販売店にお問い合わせになるか、ウェブサイトをご覧ください：
www.coselgi.com。

本補聴器は Mojo アプリからワイヤレスで操作できます。
他社製のアプリで補聴器をご使用になる場合、またはアプリを他の機器でご使用になる場合、当社は一切責任を負いません。アプリの詳細については、本書の該当箇所をご覧ください。

目次

安全に関する重要な情報.....	7
お客様の補聴器.....	10
はじめに.....	10
各部の名称.....	11
使用条件.....	12
ご使用にあたって.....	12
充電式電池付き補聴器.....	12
用途.....	12
充電.....	13
使用時間&充電時間.....	13
動作と充電の条件.....	15
保管条件&輸送条件.....	16
使用方法.....	18
補聴器電源のオン/オフ.....	18
補聴器の装着と取り外し.....	19
カスタマイズ.....	20
プログラム.....	20
ゼンプログラム.....	22
お知らせ音.....	22
通信相手未検出時の警告.....	24

音とプログラムの調整.....	25
補聴器を装着してスマートフォンを使用する.....	28
スマートフォンとのペアリング.....	29
Bluetooth 経由でスマートフォンに接続する方法	29
補聴器をアプリに接続する方法.....	29
Bluetooth との接続を切断する方法.....	29
スマートフォンとの互換性.....	30
お手入れ.....	31
用具.....	31
ワックスガード.....	32
付属品.....	33
故障と思われるときの対処方法.....	35
機内での使用について.....	39
規制情報.....	40
FCC/ISED ステートメント.....	40
EU 指令.....	43
指令 2014/53/EU.....	43
廃棄に関する情報.....	44
記号.....	45

安全に関する重要な情報

補聴器の使用を開始する前にこれらのページをよくお読みください。



補聴器および電池は口に入れたり、不適切な使用をすると非常に危険です。重大な怪我や、思わぬ事故につながりかねません。飲み込んでしまった場合は、すぐに119番通報するか、または病院に連絡してください。



お使いにならない時は補聴器を取り外してください。取り外しておくことにより、外耳道が換気され、耳の感染症の防止につながります。



耳の感染症やアレルギー反応が疑われる場合は直ちに、医師または販売店にご相談ください。



補聴器に不快感を感じたり、耳に合わないなどで耳の皮膚が赤くなるなどの異常を感じる場合は、販売店にご相談ください。



シャワー、水泳、ヘアドライヤーを使う前には補聴器を取り外してください。



香水、スプレー、ジェル、ローション、クリームを付ける場合は、補聴器を装用しないでください。



電子レンジで補聴器を乾かさしないでください。補聴器が破損します。



お客様の聴覚が損傷する恐れがあるため、絶対に他人の補聴器を使用しないでください。また、ご自分の補聴器を他人に使用させないでください。

 鉱山などの爆発性ガスが存在する可能性がある環境では補聴器を絶対に使用しないでください。

 **補聴器、その部品、付属品および電池はお子様や知的障害のある方の手の届かないところに保管してください。**

 自分自身で補聴器を分解したり、修理したりしないでください。補聴器の修理が必要な場合は、販売店にご相談ください。

 補聴器には無線通信技術が搭載されています。補聴器を使用している間は、常に周囲の環境に注意してください。何らかの制限が適用される場合には、それらを順守するよう注意を払ってください。

 お使いの補聴器の設計は、国際的な電磁両立性に関する規格に適合していますが、他の電気機器に電磁的な干渉を与える可能性があります。電磁的な干渉が生じた場合には、他の電気機器から離してください。

 **補聴器で転送音声を大音量にしていると、アラームや交通騒音などの他の重要な音が聞こえなくなる場合がありますのでご注意ください。この場合、転送音声の音量を適切なレベルに調整してください。**

 補聴器を極度の高温または高湿度にさらさないでください。また濡れたり汗を多くかいた場合は直ちに乾燥させてください。

 補聴器のお手入れに液体や殺菌剤を使用しないでください。



毎日使用後に補聴器をお手入れし、破損していないことを確認してください。装用中に補聴器が破損し、外耳道に小さい破片が残った場合には、医師の診断を受けてください。決して破片をご自身で取り出さないでください。



CT や MRI などの検査を受ける際には、事前に補聴器を外してください。補聴器から大きな音が生じたり、補聴器を破損することがあります。IH 調理器など電磁波を発生する機器の影響で、雑音や歪みを生じることがあります。

お客様の補聴器

はじめに

新しい補聴器をご購入いただきありがとうございます。

本補聴器は、充電式リチウムイオン電池を使用します。必ずモデル WPT102 の充電器を合わせてお使いください。電池は内蔵されており、交換できません。

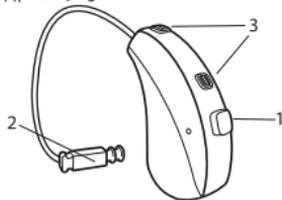
慣れるまでに少し時間がかかるかもしれませんが、補聴器を継続的にお使いください。補聴器を頻繁にお使いいただくことで、補聴器の効果を余すことなく実感いただくことができます。

付記

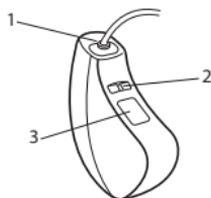
この取扱説明書に掲載されている補聴器、イヤセット、付属品の図は、お客様のものと異なる場合があります。また当社は、必要な変更を行う権利を有します。

各部の名称

下の1つ目の図は、イヤセットが取り付けられた状態の補聴器です。イヤセットは、レシーバー搭載のイヤワイヤとイヤチップで構成される、耳の内側に装用する補聴器の一部です。



1. プッシュボタン/電源オン/オフ ①
2. レシーバー搭載のイヤワイヤ
3. マイクグリッド



1. イヤワイヤ接続部
2. 左右識別マーク
3. 識別ラベル(モデル&シリアル番号)

左右識別マークの色で左右を見分けることができます。左耳用の補聴器には青いマークが付いています。右耳用の補聴器には赤いマークが付いています。

イヤセットの詳細については、イヤセットのマニュアルを参照してください。

使用条件

ご使用にあたって

本補聴器は、聴力障害の重症度が最低（0 dB HL）から高度または重度（115 dB HL）の範囲にある生後 36 ヶ月以上の方を対象とした機器です。

これらは、聴カリハビリテーション施設において訓練を受けた資格を持つ聴覚専門医（オーディオロジスト、補聴器専門家、耳鼻咽喉科医）により処方される必要があります。

充電式電池付き補聴器

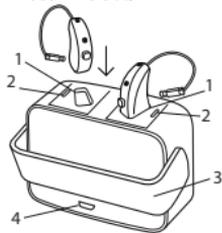
充電式電池付き補聴器は、36 ヶ月未満のお子様または知的障害のある方は使用できません。

用途

補聴器は、日常の受聴環境で使用される気導増幅装置としての使用を意図しています。補聴器には、静寂な環境において背景音を聴くことを楽しみたい方に、リラックス作用のある背景音（音楽/ノイズ源）を提供することを目的としたゼンプログラムが備わっている場合があります。

充電

毎日補聴器を充電することを推奨しています。この図は充電器の各部を示したものです。



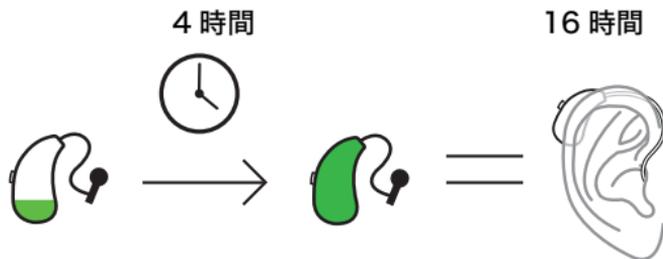
1. 充電スロット
2. ライトインジケータ
3. ヒンジ付きカバー
4. マイクロ USB 端子

補聴器の充電方法に関する詳細は、充電器の取扱説明書を参照してください。

使用時間&充電時間

補聴器を 30 分間充電すると、約 4 時間使用できます。補聴器を完全に充電するには約 4 時間かかります。

補聴器を完全に充電した状態からの使用可能時間は、周囲の環境や使用状況によって異なります。状況によっては 16 時間以上使用できます。



充電残量低下のアラームが鳴った場合、残りの使用可能時間は長くても3~4時間です。早めに充電してください。充電残量がほとんどなくなると、補聴器の電源が切れます。難聴の程度、使用環境、音声ストリーミングは、使用可能時間に影響する要因となります。例えば、音声ストリーミングを使用すると、補聴器の使用可能時間は短くなります。

動作と充電の条件

この補聴器は、日常生活での使用を意図しており、ユーザーにとって快適な環境で機能します。機内での使用は可能ですが、入浴時（シャワーを含む）や水泳を行う場合、就寝の際（睡眠中）は必ず外してください。

動作条件

	最低	最高
温度	0° C (32° F)	40° C (104° F)
湿度	相対湿度 10%	相対湿度 95%
気圧	750 hPa	1060 hPa

充電条件

	最低	最高
温度	0° C (32° F)	30° C (86° F)
湿度	相対湿度 10%	相対湿度 95%

使用せず長期保管する場合

長期間補聴器を使用しない場合、補聴器を完全に充電してから、ケースに入れて保管してください。保管前に必ず補聴器の電源を切ってください。

回復不能な電池の過放電を防ぐため、必ず補聴器を6ヶ月ごとに充電してください。過放電した充電電池を再度充電することはできません。交換が必要となりますので販売店にご相談ください。当社は、6ヶ月より頻繁に充電することを推奨しています。

保管条件&輸送条件

この補聴器は、高温など過酷な条件の影響を受けやすい製品です。必ず直射日光の当たらない、以下の条件を満たした場所でのみ保管、輸送してください。

保管条件

	最低	最高
温度	10° C (50° F)	40° C (104° F)*
湿度	相対湿度 20%	相対湿度 80%

*推奨温度は 10° C~25° C です。

輸送条件

	最低	最高
温度	-20° C (-4° F)	55° C (131° F)
湿度	相对湿度 10%	相对湿度 95%

補聴器の技術データシートと追加情報：

www.coselgi.com

使用方法

補聴器電源のオン/オフ

補聴器の電源を入れる方法は2つあります。

1. プッシュボタンを数秒間長押しします。その後さらに数秒経つと、電源が入ったことを知らせる補聴器のお知らせ音が鳴ります。(販売店がこの機能を無効に設定している場合を除く。)
2. 補聴器を充電器から取り外すと、数秒後自動的に補聴器の電源が入ります。電源が入ったことを知らせる補聴器のお知らせ音が鳴ります。

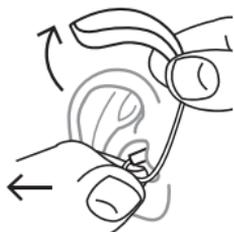
補聴器の電源を切る方法は2つあります。

1. 補聴器を充電器に置くと、充電が始まります。
2. プッシュボタンを数秒間長押しします。電源が切れることを知らせるお知らせ音が鳴ります。

補聴器の装着と取り外し



1. イヤワイヤの下側を持ちながら、イヤセットを外耳道に挿入します。同時に耳を後方、上方向に引っ張ると装着しやすくなります。
2. 補聴器を耳の後ろに掛けます。補聴器が耳と頭の間にはっきりと収まるようにします。



初めに補聴器を耳の後ろから取り外します。イヤワイヤの下側を持ちながら、イヤセットを外耳道から慎重に引き出します。

補聴器の装着には、様々なタイプのイヤセットを使用できます。イヤセットの詳細については、別冊のイヤセットのマニュアルを参照してください。

カスタマイズ プログラム

この表には、選択できる各プログラムの概要がまとめられています。詳細については販売店にお尋ねください。

プログラム	用途
万能	あらゆる状況で最適な聞こえを提供することを重視した自動プログラム
静寂	静かな環境で聞くための特別プログラム
快適	騒音がある環境で聞くための特別プログラム
交通機関	車、列車などの騒音がある環境で聞くためのプログラム
メリハリ	クリアで鮮明な音をお好みの場合のプログラム
都会	音声レベルが変化する環境用のプログラム（スーパーマーケット、騒がしい職場など）
パーティ	多くの人が同時に話す環境用のプログラム

プログラム	用途
グループ	家族とのディナーなど、小規模の人の集まる場のためのプログラム
ミュージック	音楽を聴くためのプログラム
特別プログラム	用途
ゼン	ストレス軽減を目的とした機能。チャイムや鐘の音を奏でます。詳細は「ゼンプログラム」をご覧ください。
電話	通話に最適なプログラム
スマートトグルプログラム	用途
ゼン+	このプログラムはゼンと似ていますが、リモコン（RC-DEX またはアプリ）を使用して様々なタイプのトーンやノイズを聴くことができます。

リストに記載されているプログラム名は既定のもので、販売店では、あらかじめ選択されたリストにあるプログラム名を選択することもできます。この機能では、それぞれの状況に合ったプログラムをより簡単に選択できます。

お客様の聴力に応じ、販売店が線形周波数変換の機能を有効にします。この機能でメリットが得られるかどうかについては販売店にお尋ねください。

後にお客様の必要性やお好みが変わった際、販売店はプログラムの選択を簡単に変更することができます。

ゼンプログラム

補聴器には、ゼンと呼ばれるユニークなオプションのプログラムが搭載されている場合があります。これは、背景に楽音（時には激しいノイズ）を作り出します。



音の大きさの減少、許容範囲外の音、音声が明確ではない、または耳鳴りの悪化を感じた場合は、販売店にご相談ください。



ゼンプログラムを使用すると、会話などを含む通常の音声が妨げられることがあります。これらの音声を聞くことが重要な場合は、このプログラムは使用しないでください。このような状況では、補聴器をゼン以外のプログラムに切り替えてください。

お知らせ音

機能が不要な場合には、お知らせ音を無効にすることも可能です。販売店にご依頼ください。

プログラムのお知らせ音

補聴器は、使用中のプログラムを音でお知らせします。また、プログラムの変更が行われた場合にもお知らせ音が鳴ります。販売店の設定により、お知らせ音は、EasyVoice（言葉によるメッセージ）または EasyTones（ピープ音）のいずれかとなります。

プログラム 1 メッセージまたは短いピーブ音 1 回

プログラム 2 メッセージまたは短いピーブ音 2 回

プログラム 3 メッセージまたは短いピーブ音 3 回

プログラム 4 メッセージまたは長いピーブ音 1 回と短い
ピーブ音 1 回

プログラム 5 メッセージまたは長いピーブ音 1 回と短い
ピーブ音 2 回

プッシュボタンのお知らせ音

この機能が不要な場合には、無効にすることも可能です。
販売店にご依頼ください。

プッシュボタンの 操作	お知らせ音	お知らせ音の説明
----------------	-------	----------

音量の調節	ピーブ音	- 既定の音量に達すると、ピーブ音が 2 回鳴ります - 音量が最大または最小に達すると、連続音が鳴ります - 音量を調節する度にピーブ音が 1 回鳴ります
-------	------	--

プッシュボタンの 操作	お知らせ音	お知らせ音の説明
プログラムの切り 替え	言葉によるメッセ ージまたはビーブ 音	別のプログラムに 切り替えると、補聴 器は既定の音量に 戻ります
電源オン	言葉によるメッセ ージまたはビーブ 音	
電源オフ	言葉によるメッセ ージまたはビーブ 音	

通信相手未検出時の警告

販売店は、片方の耳の補聴器がもう片方の耳の補聴器に接続されない場合、補聴器が警告を発する機能をオンにすることができます。言葉によるメッセージが聞こえます。

音とプログラムの調整

MOJO アプリ

MOJO アプリを使用して、スマートフォンを MOJO 補聴器と接続すると、音声をストリーミングしたり補聴器の機能をコントロールできます。例えば、補聴器の聞こえのカスタマイズ、プログラムの変更、音量の調整、ミュートの切り替えなどの操作を行うことができます。

リモコン

リモコンをお使いの場合、お客様の必要性やお好みに応じて快適に聞こえるよう、あるいはより聞き取りやすくするよう、手動でプログラムを変更したり、音量を調節することができます。この機能の詳細については、販売店にご相談ください。

2 台の補聴器用のプッシュボタン

補聴器を 2 台お使いの場合は、目的に応じて 3 つの異なる機能のいずれかにプッシュボタンをプログラミングできます。プログラミングは販売店にご依頼ください。

1.プログラムボタンとオン/オフスイッチとして設定

機能	スイッチオフ	スイッチオン
プログラムを変更するには、左右どちらかの補聴器のボタンを押します	各補聴器のボタンを数秒間長押しします	各補聴器のボタンを数秒間長押しします

2.音量調整ボタンとオン/オフスイッチとして設定

機能	スイッチオフ	スイッチオン
音量を上げて聞き取りやすくする場合:右側の補聴器のボタンを押します	右側の補聴器のボタンを数秒間長押しします	右側の補聴器のボタンを数秒間長押しします
音量を下げて快適さを求める場合:左側の補聴器のボタンを押します	左側の補聴器のボタンを数秒間長押しします	左側の補聴器のボタンを数秒間長押しします

3.オン/オフスイッチ専用ボタンとして設定

スイッチオフ	スイッチオン
各補聴器のボタンを数秒間長押しします	各補聴器のボタンを数秒間長押しします

1 台の補聴器用のプッシュボタン

補聴器を1台のみお使いの場合は、目的に応じて2つの異なる機能のいずれかにプッシュボタンをプログラミングできます。プログラミングは販売店にご依頼ください。

1. プログラムボタンとオン/オフスイッチとして設定

機能	スイッチオフ	スイッチオン
プログラムを変更するには、補聴器のボタンを押します	補聴器のボタンを数秒間長押しします	補聴器のボタンを数秒間長押しします

2. オン/オフスイッチ専用ボタンとして設定

スイッチオフ	スイッチオン
補聴器のボタンを数秒間長押しします	補聴器のボタンを数秒間長押しします

補聴器を装用してスマートフォンを使用する



スマートフォンで音声ストリーミングを使用して通話を行う際は顔の正面でスマートフォンを持ちスマートフォンのマイクを口に近付けます。

スマートフォンとのペアリング

Bluetooth 経由でスマートフォンに接続する方法

補聴器とスマートフォンをペアリングするには、補聴器を再起動する必要があります。以下の手順にしたがってください。

1. 補聴器を再起動します。
2. 補聴器をスマートフォンの近くに置き、MOJO アプリの指示にしたがってください。
3. これで補聴器とスマートフォンを使用できます。

付記

補聴器は、再起動後 3 分間のみペアリングモードになります。この間にペアリングしなかった場合、もう一度補聴器を再起動する必要があります。

補聴器をアプリに接続する方法

(設定メニューで) 補聴器とスマートフォンのペアリングを行った後、MOJO アプリを開くとアプリが自動的に補聴器に接続されます。

Bluetooth との接続を切断する方法

MOJO アプリの[More] (詳細) メニューから[Hearing aid Bluetooth] (補聴器の Bluetooth) を選択し、Bluetooth の接続を切断します。補聴器を再起動すると、Bluetooth に再び接続されます。

スマートフォンとの互換性

互換性のあるスマートフォン、タブレット端末等の一覧はこのウェブサイトに掲載されています：

www.coselgi.com：

お手入れ

補聴器の性能を維持するために、耳垢や汚れを取り除いて常にきれいな状態にしてください。



やわらかく乾いた布で補聴器を拭いてください。

マイクの入音口が詰まっている場合は、販売店にご連絡ください。

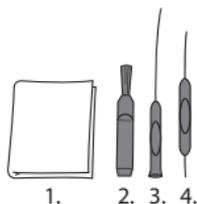
マイク内部にほこりや汚れが詰まっている場合には、慎重に息を吹きかけて吹き飛ばすか、やわらかい布で拭き落としてください。

補聴器が濡れたり、汗を多くかいたりした場合は、補聴器を直ちに乾燥させてください。

イヤセットの清掃方法については、イヤセットのマニュアルを参照してください。

用具

補聴器に同梱されているお手入れ用の用具は以下の通りです。



1. クリーニングクロス
2. イヤセット用のブラシ
3. イヤセット用の長い耳垢除去用具
4. イヤセット用の短い耳垢除去用具

ワックスガード

ワックスガードは、イヤチップの後ろにあるレシーバーの入音口に取り付けるフィルターで、レシーバーを耳垢から保護するために役立ちます。必ず補聴器に同梱されているワックスガードを使用してください。

ワックスガードの交換方法については、イヤセットのマニュアルを参照してください。

付属品

別売りの補聴援助用の付属品を使用できます。各種付属品を使用してメリットを得ることができるかどうかについては、販売店にお尋ねください。

名称	用途
RC-DEX	リモコン
TV-DEX	テレビおよびオーディオの受聴用
PHONE-DEX 2*	シンプルな固定電話用（日本国内未対応）
FM+DEX	FM 受信機および外部音響機器から補聴器への音声ストリーミング用
COM-DEX	Bluetooth 経由でのスマートフォンや他の機器との無線接続用
COM-DEX Remote Mic	騒音のある環境での話し声の聞き取りを支援します
TV PLAY	テレビの音声の直接ストリーミング用
WPT102	MRR2D 補聴器の充電器
MOJO アプリ	スマートフォン経由で補聴器をコントロールするためのアプリ

* 一部の国でのみ利用可能。

故障と思われるときの対処方法

補聴器が動かない場合や期待通りに機能しない場合は、この項に記載されている情報を参照してください。問題が解決しない場合は販売店にご相談ください。

問題	考えられる原因	解決策
補聴器から音が聞こえない	補聴器の電源が入っていない	ブッシュボタンを押して補聴器の電源を入れるか、補聴器を充電器に置き、10秒経ってから補聴器を取り外してください
	補聴器が充電されていない	補聴器を充電器で充電してください

問題**考えられる
原因 解決策**

充電されており、電源も入っているのに補聴器から音が聞こえない

ワックスガードに耳垢が詰まっている。

イヤーワイヤ/チューブからイヤーチップを取り外します。ワックスガードに耳垢が詰まっている場合は、ワックスガードを交換します。詳細については、イヤセットのマニュアルを参照してください。サポートが必要な場合は、販売店にお問い合わせいただくことができます。

補聴器の音が小さく感じる

耳に耳垢が詰まっている

医師にご相談ください

問題	考えられる原因	解決策
	ワックスガードに耳垢が詰まっている。	イヤワイヤ/チューブからイヤチップを取り外します。ワックスガードに耳垢が詰まっている場合は、ワックスガードを交換します。詳細については、イヤセットのマニュアルを参照してください。サポートが必要な場合は、販売店にお問い合わせいただくことができます。
	聴力が変わっている	販売店/医師にご相談ください
ピーツというハウリング音が常に聞こえる	耳に耳垢が詰まっている	医師にご相談ください
	イヤセットが適切に取り付けられていない	「補聴器の装着と取り外し」を参照してください
補聴器が両方同時に動作しない	補聴器間の通信が途絶えている	補聴器の電源を入れ直してください

問題	考えられる原因	解決策
付属品で音量調節やプログラム の切り替えを しても両方の補聴器が反応しない	付属品が通信圏外で使用されている	付属品を補聴器に近づけてください
	強い電磁干渉がある	わかる場合は、電磁干渉源から離れてください
	付属品と補聴器が適合していない	販売店にお問い合わせの上、付属品が補聴器と適合していることを確認してください

付記

この対処方法はこの補聴器本体のみに該当します。お使いのイヤセットの詳細については、を参照してください。問題が解決しない場合は販売店にご相談ください。

機内での使用について

補聴器と充電器は、手荷物として機内に持ち込むことも、預け入れ荷物として預け入れることもできます。

アプリを使用して補聴器の Bluetooth 接続を切断する必要があります。補聴器がスマートフォンに接続されていない限り、補聴器から 2.4 GHz 無線送信が行われるおそれはありません。

規制情報

FCC/ISED ステートメント

FCC ID : TTY-MRR2D

IC : 5676B-MRR2D

Federal Communications Commission Statement

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

NOTE:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a

particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

NOTE:

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

Changes or modifications to the equipment not expressly approved by COSELGI A/S could void the user's authority to operate the equipment.

ISED 適合宣言 (Déclaration d'ISED)

This device contains licence-exempt transmitter(s)/ receiver(s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS(s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause interference.
- (2) This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

L'émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) L'appareil ne doit pas produire de brouillage;
- (2) L'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

ISED RADIATION EXPOSURE STATEMENT:

This equipment complies with ISED RF radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

ISED EXPOSITION AUX RADIATIONS:

Cet équipement est conforme avec ISED les limites d'exposition aux rayonnements définies pour un contrôlé environnement. Cet émetteur ne doit pas être co-localisés ou fonctionner en conjonction avec une autre antenne ou émetteur.

EU 指令

指令 2014/53/EU

COSELGI A/S は、ここに、この MRR2D が、指令 2014/53/EU の基本的要求事項および関連規定に準拠していることを宣言します。

MRR2D には、以下の条件で動作する無線送信機が搭載されています：10.6 MHz、-54 dB μ A/m @10 m、2.4 GHz、0.9 mW EIRP。

2014/53/EU に従う適合宣言書のコピーを以下に掲載します。

www.coselgi.com/doc

無線性能が低下する可能性を防ぐため、必ず補聴器を他の無線通信機器から 25cm (10 インチ) 以上離してください。



N26346



R

202-SMH052

廃棄に関する情報

補聴器、アクセサリ、充電器は通常の家庭ごみと一緒に捨てないでください。

補聴器、アクセサリ、充電器は、地区の定める電気・電化製品の処分方法に従って処分するか、購入元に安全な処分を依頼してください。

記号

COSELGI A/S により、医療機器の表示（ラベルや取扱説明書など）で共通して使用される記号

記号 タイトル/説明



製造元

製品は、名称および住所が記号の横に記載されたメーカーにより製造されています。該当する場合、製造日も記載される場合があります。



カタログ番号

製品のカタログ（品目）番号。



取扱説明書を参照

取扱説明書には安全に関する重要なお知らせ（警告/注意）が記載されていますので、製品のご使用前に必ずお読みください。



警告

警告記号を伴う事項は、製品のご使用前に必ずお読みください。



WEEE マーク

「一般廃棄物ではありません」製品の廃棄については、危険物質による環境や人の健康を害するリスクを防ぐため、指定されたりサイクル・回収場所に廃棄してください。

記号 **タイトル/説明**



CE マーク

製品は、CE マークに関する欧州指令によって定められた要件に適合しています。



RCM マーク

製品は、オーストラリアとニュージーランド市場に供給される製品に対する電気安全性、EMC、無線スペクトル規制要件に準拠しています。



電源オン/オフ

電源への接続、または、電源からの切断を示します。



技術基準適合証明マーク

この製品は日本の技術基準適合証明を受けたものです

ワイデックス株式会社
製造販売元 ワイデックス株式会社
〒105-0013 東京都港区浜松町2-6-2 浜松町262ビル
TEL 0120-332-604 FAX 0120-332-394
許可番号 13B2X00020 管理医療機器



COSELGI A/S

Nymoellevej 6, DK-3540 Lyngø, Denmark
www.coselgi.com



取扱説明書番号:
9 514 0591 016 01
発行:
2022-05

